

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成25年 5月22日更新

事務事業名		消防団積載車、小型ポンプ維持管理事業					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連					
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり				所属部	総務部	課長名	青木洋治		
	施策	1	危機管理・防災対策の推進				所属課	総務課	担当者名	山隈和徳		
	基本事業	2	災害時応急対策				所属班	交通防災班	(内線)	1213		
予算科目		会計一般	款9	項1	目2	事業連番10023	法令根拠	消防組織法			成果優先度評価結果	⑥
										コスト削減優先度評価結果	⑨	
終了、開始年度		☐ 24年度で終了 ☐ 24年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 22 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)				

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	・適正な車検、定期点検の実施。消防団員に月2回の点検を指示。故障時の早急な修繕対応。積載車および小型ポンプの整備に伴い、適切な環境維持と緊急時に即対応できる管理が必要なため。特に意見や要望等はない。
【業務の流れ】	・車検表および定期点検表の作成、周知、検査の実施、支払い。消防団員に対する月2回の点検の実施徹底、故障の早期発見、修繕、支払。
【主な予算費目】	・需用費(修繕費) 役務費 公課費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	・特に意見や要望等はない。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
①手段(主な活動)24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)		25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
・車検・定期点検の実施。 ・消防団員による月2回の点検指示。 ・故障等に対する修繕。		・車検・定期点検の実施。 ・消防団員による月2回の点検指示。 ・故障等に対する修繕。	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア:車検実施台数	台	車検対象車両の減	
→ イ:修繕台数	台		
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	
・消防車両、小型ポンプ		→ ア:消防車両	台
		→ イ:小型ポンプ	台
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	
・災害時等の緊急に即対応できる状態を保つ。		→ ア:修理が必要となった車両数	台
		→ イ:修理が必要となったポンプ台数	台
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠			総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0

(2)各指標・総事業費 の推移				単位	22年度 実績(決算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	26年度 予定	27年度 見込	28年度 見込
① 活動指標	ア	台		27	19	24	24	19	27	19	27	
	イ	台		0	5	0	3	0	0	0	0	
② 対象指標	ア	台		46	46	46	46	46	46	46	46	
	イ	台		0	0	46	46	46	46	46	46	
③ 成果指標	ア	台		3	5	0	4	0	0	0	0	
	イ	台		6	2	0	3	0	0	0	0	
投 入 費 量	事業 費 内 訳	国庫支出金	千円									
		都道府県支出金	千円									
		地方債	千円									
		その他	千円									
		繰入金	千円									
		一般財源	千円	2,661	2,459	3,631	2,695	3,012	3,650	2,700	3,650	
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	2,661	2,459	3,631	2,695	3,012	3,650	2,700	3,650	
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	人 件 費	正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4	4	4	
		延べ業務時間	時間	180	180	180	125	180	180	180	180	
	(B)人件費計		千円	741	726	726	508	726	726	726	726	
	トータルコスト(A)+(B)		千円	3,402	3,185	4,357	3,203	3,738	4,376	3,426	4,376	

事務事業名	消防団積載車、小型ポンプ維持管理事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	--------------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（SEE）

※原則は24年度の事後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒ 【原因】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり ⇒ 【理由】 ☐ 目標達成は厳しい ⇒ 【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	☒ 向上余地がある ⇒ 【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒ 【理由】 ・定期的な点検と適切な維持管理行い、正しい操作方法の習得等を行うことで、車輛、ポンプの故障を減らすことができるので、向上の余地がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒ 【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒ 【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒ 【理由】 ・他に類似事業なし。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒ 【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒ 【理由】 ・支出は、修繕費と車検代であり、万全の備えを整えるために必要であり、削減できない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☒ 削減余地がある ⇒ 【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒ 【理由】 ・修理・車検のための消防団や業者との調整や支払い事務であり、修理の件数が減少すれば、その分の事務は軽減される。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒ 【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒ 【理由】 ・消防団の全分団に配備されている積載車、ポンプの維持管理のための費用であり、公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒ 【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒ 【理由】

3 評価結果の総括（SEE）

※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

--

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善（有効性改善） ☐ 事業のやり方改善（効率性改善） ☐ 事業のやり方改善（公平性改善） ☐ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																						